

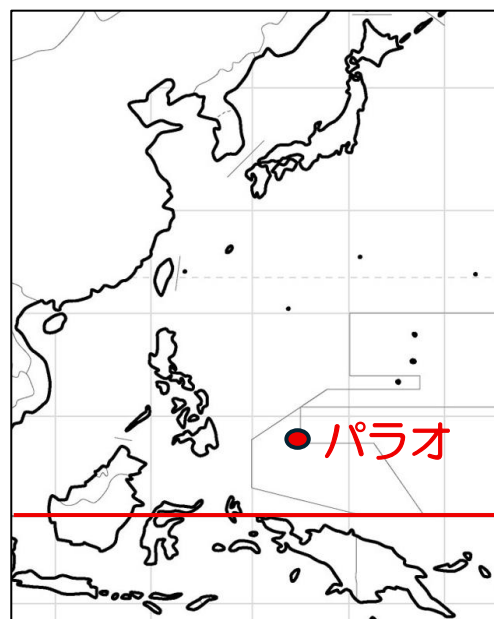


「Sulang」はパラオ語で「ありがとう」という意味です。(私が置かせていただいている環境に感謝を込めて)

パラオに来て4カ月になりますが、日本との大きな違いの一つに気候があります。日本は今、秋が過ぎ、冬到来といった感じですね。こちらパラオは私にとっては奇妙なことに、来て以来、気候の変化は何一つありません。ということで、今回はパラオの気候について触れたいと思います。

○パラオの気候

パラオは北緯約7.3度、東経134度付近に位置しています。赤道に近いため、年間を通じて気温の変化が小さいです。平均最高気温は30～32℃、最低気温も25℃前後で安定しています。暖かい海流に囲まれているので、海洋性の湿潤な気候となり、降水量が非常に多いです。年間降水量は約3,600mmに達して、世界でも有数の降水量です。北東貿易風帯に位置していて、年間を通じて風が吹き、高温多湿ながらも一定の風通しを保つので、蒸し暑さがやや和らぎます。一応、雨季(5～10月)と乾季(11～4月)があり、雨季は湿度が高まってスコール(短時間の激しい雨)が頻発し、乾季は比較的雨が少なく、観光や活動に適した時期と言われています。



○住んでみての実感

実際に4カ月過ごしてみて、晴れているときの直射日光は、やはり赤道に近いためかじりじりと強く感じます。風があるため、日本の夏ほどの暑さを感じることはありません。特に日陰にいても風があって涼しく感じます。紫外線は強いようで、油断しているとあっという間に日焼けしてしまいます。サンダル焼け→



はじめてスコールを体験した時は感動しました。一度降り出したら、ものすごく雨が降ります。でも、通り雨のようなもので、しばらくすると止んで晴れたりします。スコール後に晴れると湿度は急上昇します。一日中雨や一日中晴れということは稀で、1日の中で降ったり晴れたりを繰り返していることが多い気がします。

この気候にも慣れ、季節の変わり目がないことで、逆に体調を崩すことなく4カ月を過ごすことができ本当にありがたいと思っています。季節の移ろいがないのは寂しいですが、、けっこう困っていることは「カビ」です。湿度は常に80%以上あるようで、雨のち晴れの影響もあって、革や木の製品、パンなどは油断しているとすぐにカビます。部屋の中は常に風通し良くを心がけています。日本と全く異なる環境で生活できていることも有難い経験だと思っています。

